

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

地域を育み、大陸をつなぐ  
Building Communities, Bridging Continents  
国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス



ロータリーを楽しもう  
Enjoy Rotary  
富津中央RC会長 原田 雅式

2010～2011

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2195 第33回例会 2011. 3. 24 曇

点 鐘 : 原田雅式 会長  
進 行 : 須藤 隆 SAA  
ソング : それでこそロータリー

### 会長挨拶

原田雅式 会長



皆さんこんにちは、先ず東日本巨大地震の被災者の方に心からお見舞い申し上げます。

地元富津ではたいしたことなく停電、電話がつかまらない程度でほっとしています。

福島では大変なことになっています、テレビでご覧の通りです。

実は富津でも1晩だけ大変な場所がありました。佐貫小と金谷小です。3月11日、地震が2時46分ですがその後、内房線の電車がストップし、電車内の方が避難しました。

佐貫小130人、金谷小200人です。電気、電話、携帯ストップ、食べ物、水、毛布がなく、我がボランティアグループが活躍しました。電話が繋がらない

ので、近所にいる6人で、ペットボトル(ミネラル)2リッターを15本ほど持参、炊き出しをしようとしたんですが、電気がダメで困りました。

その後夜9:30分頃、市役所から毛布、水、乾パン等が届きました。1番困ったことはトイレで、体育館の中に130人いたんですが屋上のタンクの水がなくなり、トイレの水が出ない、電気の無い中、バケツリレーです。まさに災害最前線でした。

なんとか切り抜けられたのもロータリーで超私の奉仕を勉強しているからだと思いました。

ご参考までに江戸時代からの大きな地震は、元禄16年(1703年)元禄の地震 M8. 1。

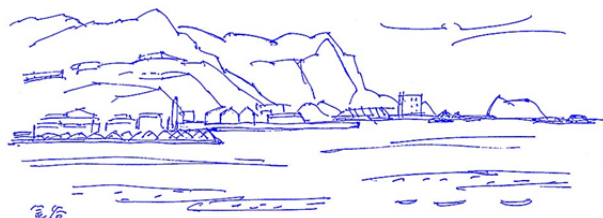
宝永4年(1707年)富士山爆発。

安政元年(1854年)安政の東海地震、32時間後安政の南海地震双方ともM8. 4。この地震による津波は、ヤマサ醤油7代目当主(和歌山、銚子)浜口梧陵(儀兵衛)活躍の「稲むらの火」で知られます。

### 会長報告

1. 市内3クラブ合同例会は5月18日に延期となりました。
2. 台湾訪問は延期とします。

〒293-0042 富津市小久保2868  
さざ波館 Sazanami-kan  
2868 Kokubo Futsu-shi Chiba-ken,  
Zip code 293-0042  
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304  
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



## 幹事報告

平川恵敏 幹事



1. 週報受領  
袖ヶ浦RC、上総RC
2. 米山梅吉記念館館報 2011 春号受領
3. ローターリー囲碁同好会開催案内  
日時 2011年4月30日(土)夕～  
5月2日(月)昼  
会場 台湾桃園市  
登録料 12,000円
4. 例会変更  
袖ヶ浦RC 移動例会  
日時 平成23年4月4日→8日15時  
場所 菜心味長浦店駐車場集合  
理由 家族親睦花見例会(隅田川)
5. 4月ロータリーレート=80円/ドル
6. 第3回日台ロータリー親善会議案内  
日時 2011年6月10日(金)14時点鐘  
会場 ホテルグランピア京都  
登録料 15,000円/人
7. 義援金のお願い  
東北地方太平洋沖地震 一万円/人 以上
8. 会長エレクト研修セミナー開催日変更案内  
日時 4月10日(日)13:00～  
場所 ホテルニューオータニ幕張
9. 地区協議会開催案内  
日時 4月24日(日)9:00～  
場所 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
10. 三クラブ合同例会開催日変更  
日時 5月18日(水)17:30～  
場所 喜楽館

## 卓話

「焼き物に魅せられて」

山田昌雄 会員

序

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、彼岸を過ぎても寒さが続いています。今日も最高気温は10℃にも達しないそうです。

そこで旧暦を見てみますと、今日は2月20日だそうです。我が家でも今年はとりわけ見事に咲いた豊後梅が散り始めた所です。その花は八重咲、大輪、清楚かつ優美と称されます。余談ですが、この豊後梅は古来種で大分県の県花県木になっています。和歌山の南高梅以上の大粒梅ですが他の梅より20日以上も開花が遅く、他花受粉の上花粉量が少い為、生産量が少いのが難点だそうです。

植物の変化や手入れを知るには、旧暦の方が勝っています。



本題

焼き物と私の拘わりは30年も前の頃からです。ある時、友人と共に岡山県伊部町(現・岡山市)に旅行し備前焼に出会いました。

その時飲んだ備前焼ぐい呑みの酒の味が今でも忘れられません。酒は今で言う大吟醸とか純米とか言う大それたものではありません。安宿の二級酒だったと思います。

土そのものだけで作る器によってこんなに酒の味が変わるのかとびっくりしたものです。それから旅行はなるべく全国の窯の街を訪ねることにしました。しかし、どんなに華麗・秀麗なものとも出会っても最初の感動に勝るものには出会いませんでした。

日本の焼き物の歴史は九州佐世保の福井洞窟で発見された「細隆線文土器」から始まっていると言われています。1万2千年前のものと推定されています。

これは世界最古の文明と言われる「メソポタミヤ文明」の土器より遙かに古いものと考えられているそうです。いわゆる最古の「縄文式土器」です。

縄文式土器は紀元前300年位前に突然消えたそうです。縄文式土器の後期には火焰文様とか鬼の面の様な派手な文様がついています。祭祀などの特別な目的があったのでしょうか。

しかし、その後現れたいわゆる「弥生式土器」は楕目文様のようなあっさりした文様で、全体に薄手で洗練されたものと言われています。この時代には大陸との交通もあって織物、銅、鉄の作り方、稲作の伝来など人々の生活様式の大きな変化が現れたと考えることが妥当だと思います。

人々の生活が安住、安定に変わると日常の煮炊き、食事、あるいは種の貯蔵などの目的に大量に作られるようになったのでしょう。これが現在の食器の原形と考えられます。

ただ、いずれの時代のものもその姿、形を見ると土味にほのぼのとした暖かさを感じるのは多くの日本人の共通の感想ではないでしょうか。

日本の焼物は須恵器、焼メ陶器、釉薬陶器、磁器へと飛躍的な発展を遂げていきます。しかしその歴史はたかだか500～600年に過ぎません。

陶磁器界の半分を占める土味そのものを楽しむ焼メ陶器の分野のある国は世界中にはおそらく無いと思います。

1万数千年も続いた土器文明のDNAが日本人に今も息づいていることにロマンを感じます。

跋

この度の東北関東大震災で被災された方々には心からお見舞い申し上げると同時に一日も早い復興再発展をお祈り致します。

この震災に対し、天皇陛下から頂戴したお言葉は誠に適切で有り難く、惻隠の情とはかくなるものかと感じました。



## 「歴史とロマンの町 故郷 上下町」

榎本守男 会員



先日、原田会長より電話を戴き、本日の卓話を依頼されましたが、準備ができていません。

まず冒頭で謝っておきます。これは言い訳ですが、今ちょうど私共業界は年度末の繁忙期を迎えており、更に震災の影響で輸送が混乱しており準備の時間がとれませんでした。また饒舌な山田会員の後の卓話ですので、残り少ない時間を流す程度だろうと安心していました。予想に反してキッチリ時間を残して戴いて、感謝するとともに戸惑っています。

それでは、本日は明治の文豪田山花袋の「蒲団」について話をさせていただきます。なぜこの話をするかというと、ホンの少しの縁があるからです。

花袋は1872年群馬県桐生市で生まれました。この作品は彼が35歳位の時の事を私小説として発表した作品です。中年の文学者が門下生への複雑な感情を描いた作品です。主人公の竹中時雄は花袋自身であります。そして、もう一人、花袋の門下生になりたいと何度も手紙を書き上京した女性 横山芳子こと岡田美知代も実在の人物です。

作品中では岡山県新見市の出身とありますが、本当は広島県上下町です。私の故郷です。現在も商店街に岡田美知代の生家旧岡田邸があります。岡田美知代の父は、上下町の町長、県議を務めた資産家でした。だからこそ神戸女学院そして津田英学塾に通い文学者を目指すことができたのです。

上下町は石見銀山から瀬戸内に通じる銀山街道の中継地として栄えた幕府直轄地いわゆる天領でした。当時はこの僅かな地に、金貸しが33軒あったと言います。旧岡田邸は今歴史文化資料館として残っています。2階にある岡田家の居住空間は

美知代の作品の紹介と生原稿など当時のまま保存してあります。歴史とロマンの町上下町を訪ねて頂ければ幸いです。

「蒲団」のあらすじ

中年文学者竹中時男は、ライフワークに尽力することもなく単調な生活に飽き飽きしていました。そんな時、神戸の女学院の横山芳子から弟子になりたいとの一通の手紙を受け取ります。熱心な手紙を何通かもらう中で承諾の返事をします。すると父に連れられて容色のいい女学生が来ました。最初は時男の所へ住ませました。華やかな声、あでやかな姿に時男は胸がときめき、新婚当初に帰ったような感情が湧きあがりました。妻のこともありいろいろ煩悶の末、少し離れた細君の姉の家に住ませ、そこから津田塾へ通わせました。

それから一年半後、芳子は田中と言う同志社の学生と恋仲になり帰省の途中京都で遊んだことが発覚したのです。時男は愛する人を奪われたという思いにもだえ、乱れます。嫉妬が渦巻き夜ごとに泥酔するのです。やがて田中が上京してくると芳子の外出が多くなり帰宅が遅くなる。時男は再び芳子から自分の家に住ませますが芳子は田中と共に暮らしたいと言います。二人を引き離したい時男は芳子の父を上京させ田中に京都に帰るよう説得するが駄目でした。

結局、芳子と父が郷里に帰ることになり、駅に二人を送って家に帰った時男は、淋しい想いで芳子の暮らしていた2階に上がります。芳子が常に用いていた蒲団と夜着を押入れから引き出し、その懐かしい匂いを嗅ぎます。時雄は悲哀と絶望のなかで芳子の使っていた蒲団を敷き夜着をかけ、芳子の肌で汚れたピロートの襟に顔をうずめて泣いたのです。最後の一行は、薄暗い一室、戸外には風が吹暴れていた。で終わっています。

この後、岡田美知代はこの小説に出てくる田中こと永代静雄と結婚します。しかし蒲団のモデルと噂された二人に世間の目は厳しく転々とする生活を送りました。苦しい生活の中で美知代は作品を書き続けました。そして永代と別れた美知代は特派員記者として渡米。そこで再婚します。17年間アメリカで過ごすが、日米開戦がささやかれるなかで故郷広島に帰りました。もう上下町には家も両親もなく、

実の妹の嫁ぎ先で83歳の生涯を終えました。

美知代の故郷であり守男の故郷でもある上下町は、日本海へそそぐ上下川と瀬戸内海へそそぐ矢多田川がある分水嶺の町です。白壁の町、行燈なまこ壁、うだつ、芝居小屋の翁座、格子戸、町の中心を流れる上下川で悠々と泳ぐ鯉、蒲団のヒロインの育った歴史の街を想像しながら、田山花袋の「蒲団」を再度読んで頂ければ幸いです。

整わない準備不足の卓話でしたが、ご静聴ありがとうございました。

## ニコニコBOX

刈込一弥 親睦担当委員

\*石渡 鋼 ①千葉家での家庭集会で千葉ファミリーの御厚遇に感謝。

②第四分区ゴルフコンペで優勝しました。こんな時に！

白石幸久 確定申告終了！一息ついてます。

\* >1,000円 合計 3,000円

## 出席報告

大須賀三智男 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21/21	19	2		90.48%
前回	21/18	14	4		77.78%

編集後記： 3、4月は会報の当番ですが、10、17日の会報を高橋委員にお願いして、8日～18日と南米旅行に出かけました。

11日朝6時(日本時間・午後6時)頃、サンパウロのホテルでテレビをつけて大震災を知り、すぐに自宅に電話をしたが不通でした。1時間後位に今度は自宅から電話があり、家族一同元気とのことで一安心しました。

そのまま予定通り旅行を続けましたが、途中現地の人々から御見舞の言葉を頂き、また新聞で日本は満たされた楽園から廃墟の地になった等の記事を読み、災害の大きさを認識させられました。

又、日本の友人からの電話、メール等での状況把握は大変心強く、同行の人たちにも重要な情報源として頼りにされました。(しば)